

第 64 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 29 年 4 月 24 日(月) 午前 10 : 30～12 : 00
2. 開催場所 COM倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
3. 委員の出席 委員総数 6 名
- 出席委員 4 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、
高谷和彦、神垣美代香
- 欠席委員の氏名 桑田政美、中川弘佳
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)
大平麻由美 (編成課長)
野間 耕平 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 平成 28 年度ラジオ講座
「今日からできる！認知症予防」
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

「ラジオ講座」は箕面市教育委員会の企画・制作で年に1回放送している、箕面市の提供番組です。これまで、文化・教養をテーマに、歴史、古典、音楽、朗読劇などが取り上げられてきました。超高齢社会を迎える中、高齢者の健康についての関心が高まっていることから、平成27年度・28年度は「いつまでも元気で長生きするために大切なこと」をお伝えすることに取り組みました。

65歳以上の高齢者の割合が大きい「超高齢社会」を迎える今、高齢化に伴う認知症のリスクが増大しています。誰もがなる可能性のある認知症ですが、心身を健康に保つことで、進行を遅らせたり、予防することができると言われていています。番組では、認知症について正しく理解するための情報、箕面市内のサポート体制・相談先、予防のポイントを3回シリーズでお伝えし、ラジオを聴きながら一緒にできる簡単な認知症予防トレーニングもご紹介しています。

また、テキストは各公共施設やタッキー816で無料配布したほか、箕面市ホームページからもダウンロードできました。さらに、過去に放送した「ラジオ講座」は、各学習センターで希望者に貸し出しています。

なお、平成7年の開局当初から毎年放送してきた「ラジオ講座」は、平成28年度の放送を持って箕面市の提供が終了となりましたが、今後も高齢者のかたの知識となり楽しんでいただけるようなコンテンツを局独自で企画・検討してまいります。

(2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員A：25分間というわりと長い時間だが、聴き終わるとあっという間。身近な、超高齢者、認知症といったワードに関心を持って聴きました。内容もなるほどと感じ、「試してみましよう」で動物の名前をたくさん挙げるという

のは自分も試してみましたが、全然ダメでした（笑）。解説で「これはなかなか難しい。できたらすばらしい」と言っていたので、できなくても大丈夫かなと思いながら、関心を持って聴きました。とてもためになる、身近な素材を取り上げて、良くできた番組だと思いました。

委員長：実は私も動物の名前を挙げるのをやってみました。実際に体験できるものは、やってみてすごくおもしろかったです。

事務局：自宅に65歳以上の要介護者が二人いて、家を空けることができず、市が開催している認知症予防講座などにも参加できないままだった、というかたから「今回のラジオ講座はとてもためになる内容で、良かったです。こういう番組はぜひ今後も続けてほしい」とご感想をいただいています。

委員長：確かに、今は老老介護になり、介護する側も高齢者なので、今の話のように、外で新しい知識を入れることが難しく、介護だけで精いっぱいという人も多い。そうした人たちにも伝えられるラジオは大事なと改めて思いました。

委員B：私も、自分が今介護の真ただ中で、認知症のことについてはテレビでもよく取り上げられていますけど、ラジオではとても集中して聴くことができることが分かりました。耳から入るのはいいなと思い、もっとこういう番組をやっていただきたいです。先日、市の高齢者の健康生きがいがづくりという活動に参加しましたが、会場の120人ほどの高齢者に、「タッキー816をご存知ですか」と問いかけたら悲しいかな、ほとんど手が上がりませんでした。いかにまだ知られていないか、ここをつなげていかないと、いくらい番組ができて聴くかたがないのではもったいない。私のように介護している世帯も増えていますし、その中には独居の高齢者もいることでしょう。するとやはり、ラジオの力はすごく大きいと思います。

委員C：番組自体は、内容も興味を持って聴けますし、予防ですからこれからそういう心配を抱える人たちにはもってこいの番組でした。構成もよくできていましたし、言うことなだと思います。いろんな実例、予防対策、運動や食事、生活活動というのも挙がっていましたし、コミュニケーションの取り方、日記をつけるなど、これは必要です。動物の名前を挙げるところで、バックで流れていた経過音、あれはとても追いたてられる感じがする

ので、改善する要素にはなるかもしれません。文字抜きの歌もありましたし、ジャンケンは大体できましたけど、あとはあんまりできませんでした。日頃のトレーニングは大切ですね。音楽を流しておくというのは、認知症の予防にもなるんですよ。それにしても、年に一回の放送というのは、どうなのか。予防という対策の観点からも、月に一回とか、たまたまラジオをつけて引っかけたという人もおられると思いますので、回数を増やすことは必要です。番組自体は、認知症予防のためになるいい番組でした。

委員長：年に1回というのは少なすぎます。いい番組なのに残念です。また、今回で提供が終了になるそうですが、良い番組が終了になるというのは解せません。そのところはどうなのでしょう。

事務局：費用面については、提供が無くなることで収益が減りますが、提供番組という形ではなくなることで、むしろ自由度は高くなりますので、いただいた意見を参考に、いろんな挑戦をしていきたいと考えています。

委員D（書面提出）：テキストを読みながらの進行となっているようで、非常に硬い番組になっていました。前半は面白味が全くない。内容がタイムリーで重要なテーマなので、特に前半部分を工夫して聞きやすくする必要があります。例えば、パーソナリティとの掛け合いによる会話形式で進めるなど。後半部分のトレーニングについては、分かりやすく、やってみる気になりました。3回分を貸し出ししているというのはいい試みだと思います。

委員長：とにかくみなさんの評価もよろしく、今までの経験を基礎として、そこに新しいものをプラスしながら自由な番組を作るという、前向きな話なので、これからもよろしくお願いします。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 29 年 4 月 24 日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会